

9. 課題作品製作

9-1 課題と条件

5～6週にわたって課題として個人別ホームページを作成します。この課題は、企画・設計・開発・テストの一般的な作品の製作手順を体験し、学習してきた HTML のスキルを実務に応用する術を学び、最終的には他人の鑑賞に堪えうるホームページを実際に作成することを目的としています。単なる練習問題的課題とは異なり、アイデアの段階からすべて自力で進めていかなければならないので、かなりの努力と集中力が要求されますが、私は大学で課せられる課題はこのようなものでなければならぬと常々思っています。情報処理演習Ⅱ－aのパワーポイントの課題である程度経験しているので、何をすればよいのか、何をしなければならぬのか、少しはイメージできるでしょう。

コンピュータを使ってこのような一つの作品を作り上げていこうとすると、常に念頭においていただきたいことがあります。それは、コンピュータのスキルに集中するあまり、コンピュータを操作することが目的のように錯覚してはならないということです。コンピュータはあくまでツールなのです。ですから、まずやり遂げたいことや完成したい作品などがあり、その実現のためにコンピュータが有用なので使用するにすぎないのだ、他にもっと有用なツールがあれば当然コンピュータよりそれを優先する、という意識をもち続けてください。同時に、コンピュータで処理するまでにどのようなプロセスが必要なのか、この課題で理解するようにして下さい。

なお、作成に当たっては、次節の「ホームページの制作手順」を参考にしてください。また、来週から提供予定の「Appendix」で記述される追加スキルも、余裕のある場合は利用してみてください。

課題：個人別ホームページの作成

条件

テーマ： 自由

ホームページの規模： リンクで結ばれているページ7枚以上

スキル： このオンライン教科書で前章まで学んできたスキルを色々と活用します。特に文字情報のレイアウト、背景、イメージ貼り付け、各ページの効果的なリンク、テーブル、フォームの各要素は必ずどこかに使用すること。フレームの使用に関しては、ページレイアウトのコンセプトマッチするかどうかということもありますので、個人の決断に任せます。

ファイル： すべてのファイル名は半角のアルファベット小文字で書き、HTML 文書の拡張子は「.html」、JPEG ファイルの拡張子は「.jpg」で統一します。また、最も基本となる表紙ページのファイル名も、「index.html」で統一します。

提出： 「HP 学籍番号」(例：HP09FC101、HP09JE223) の名前を付けたフォルダをこの課題用に作成し、すべての必要なファイルをこのフォルダに入れて、担当教員の提出

用フォルダにある自分用のフォルダにコピーします。そのためには、ホームページ作成を始める前にこのようなフォルダを作っておいて、すべてこのフォルダ内で作成していくようにするのがよいでしょう。提出期限は、担当教員の指示にしたがってください。

作成プロセス

1. テーマ決定
2. 資料収集

必要な文字資料やイメージ資料を準備します。インターネットを活用して資料を集めるのが最も簡単です。特に、画像やアニメーションは他のホームページやフリー素材提供サイトから取り込むと便利です。ただし、著作権に注意。また、ペイントソフトでイラストを描いたり、写真をスキャナで取り込むのも良いでしょう。スキャナは教師用マシンに接続されているので、使いたい場合は申し出て下さい。

3. 要約・構成

収集した資料を要約・分類し、各ページの内容やレイアウト、各ページ間のリンクなどの構成を考えます。特に、一つのページにすべてを連ねないで、項目ごとにリンクを張るなど、ユーザの立場で構成するのが大切です。また、様々な機能を使うように心がけて下さい。

4. ホームページのプログラミングと完成

考えた構成にしたがってプログラミングしましょう。そして、必ずブラウザで思い通りに表示されるか確かめましょう。うまくいかないところがあったり、改善した方がよいところは、時間がある限り面倒くさがらずに訂正し、完成度の高い作品を目指して下さい。

おおいに周りの人や教師と相談しながらよりよいものを作ろうと努力し、必要ならば新しいスキルも調べて利用するという作成プロセスを学ぶことも、この課題の重要な目的です。

9-2 ホームページの制作手順

ホームページ制作手順は、企業や学校などの組織の一員として、あるいは何らかのグループの一員として、組織やグループのために制作する場合と、個人のホームページを制作する場合に分けて説明していきます。

9-2-1 組織やグループの一員として制作する場合

この場合は、組織やグループとしての目的があり、反映しなければならないアイデンティティがあるわけですから、組織やグループの同意を得ながら制作していかなければなりません。他の構成員と共同作業をすることも多いことを考えると、ホームページの制作にも一般のモノ作りの原則が当てはまることとなります。

すなわち、まずは制作プロセス全体を大きく以下のような4段階に分けて把握します。

- ①プランニング（企画）：コンセプトメイキング、スケジュール、役割分担、情報資料の収集

- ②ページデザイン（設計）：ページの構成、ページのデザイン
- ③素材制作（開発）：画像や音などのマルチメディア素材の表現、収集、入力
- ④オーサリング（テスト）：ページ制作、動作確認、評価、修正

そして、これらの段階をさらに細分化し、細部にわたってそれぞれのコンセプトを確認しておきます。組織やグループの一員として作業をする場合は、各段階におけるこのような確認作業や周知徹底が欠かせません。

①プランニング

・コンセプトメイキング

ホームページを作る目的とそこで表現する内容に関するコンセプトを明確にします。この段階でしっかり検討しておかないと、目的やニーズに合わないホームページになる危険性があります。

ページ制作の目的……………宣伝や広告か、受注か、勧誘か、提案か、問題解決化など

ホームページの対象……………性別は、年齢は、不特定多数か、特定多数かなど

ホームページの内容……………案内か、内容紹介か、資料提示か、問題提起か、わかりやすいかなど

期待される効果……………売上が向上する、消費者の反響がある、連絡がよくなる、問題点が解決する、参加者が増加するなど

・スケジュール、役割分担

それぞれの作業にかかる時間、担当者などを考慮し、スケジュールを立てます。

制作スケジュール……………完成までのスケジュール、作業内容、連絡方法など

役割の分担……………プロデューサ、ディレクタ、デザイナー、コンテンツクリエイターなどの役割を決め作業を分担する。

・情報・資料の収集

目的にそって、具体的な事実や魅力あるニュース、独自の観点などから資料を収集していきます。

収集手段……………書籍、新聞、雑誌、各種ホームページ、アンケート、取材など

著作権……………文章、画像（写真やイラスト）の著作権者の許可など

情報の選択と組織化……………目的にあった情報選択、情報の分類整理、情報の組織化（データの関連付けと構造）など

②ページデザイン

・ページの構成……………ページの構造（直線構造、階層構造、Web 構造）、ページ数、ページの順序、ページのリンク、絵コンテの作成など

・ページのデザイン……………ページに共通のデザイン・レイアウト・ナビゲーションなど、文字・画像・サイン・ロゴの関連性などの検討と取り決め

③素材制作

これからの2段階は、収集した素材や新しく制作した素材で実際にページを制作していく段階

です。

- ・画像の表現と入力……………解像度、画像サイズ、色の表現、画像の入力（スキャナ、デジタルカメラ、その他のメディアから）の検討と取り決め
- ・画像の制作……………画像制作ソフトによるオリジナル画像、アニメーション、サウンド、動画などの検討と取り決め

④オーサリング

制作が終了したら、それぞれのページの単体テスト、次にリンクが正常かどうかを結合テストし、最後に総合テストを行って動作確認をします。正常に稼動しなければ、修正して再度テストし、最終的な評価を行います。

- ・ページ制作……………文字の入力、文字と画像の配置、表組み、リンク、ファイルの保存などの検討と取り決め、誤字脱字、画像の取り違いなどのチェック
- ・動作確認……………各種テストによる動作の確認
- ・評価や修正……………自己評価、グループでの評価、修正時期の検討と取り決め

以上のプロセスを、確実にチェックしながら進めていきます。

(9-2-1 節は「ネットワークリテラシー演習」海老沢信一・清水春樹編著、同友館を参照)

9-2-2 個人のホームページを制作する場合

個人、すなわち自分のホームページを制作する場合は、組織やグループの場合と根本的に異なります。制作の順序など、参考にできるところは 9-2-1 節の内容に準拠するにしても、コンセプトなどすべては自由に、自分が考えるままに決めていけばよいでしょう。

私は以前から、インターネットを通じて個人が世界に向けて情報を発信できるようになったことは、人類が初めて手にする可能性であり、その情報の表現においては個人がその個性を存分に発揮できるように自由に振舞えばよいと考えています。そうしてこそ、個人による新しい創造性が開発され、今までのような組織的社会から解放されるのではないのでしょうか。ただし、「自由」といってもまったくの自由ではなく、おのずと制限は加わります。まず、法律は守らねばなりません。他人との共存ためにはエチケットとルールを守り、モラルを高く持たねばなりません。人間としての高いレベルを維持した上での自由なのです。

また、当然のこととして、他人に見てほしい、自分の意図していることをより良く表現したい、などと考えると、やはりそれなりの技術と感性が必要になるでしょう。このような制限は当然加わりますが、他人の評価を気にするよりも自分を表現するんだという気持ちを強く持ってホームページを作り上げていくと良いと思います。

作成手順にしても、まだはっきりとしたコンセプトがない時点でページをいくつか作ってみて、それによって具体的イメージが見え、新しいアイデアが出だしたら、修正を加え、という風に進めていくのも一つの方法です。組織やグループとは異なり、自分だけの責任で制作するのですから、まずは作って公開し、少しずつ改善を加えていく、そして素晴らしいアイデアが浮かんだら一気にリニューアルする。これでも良いのではないのでしょうか。